



ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

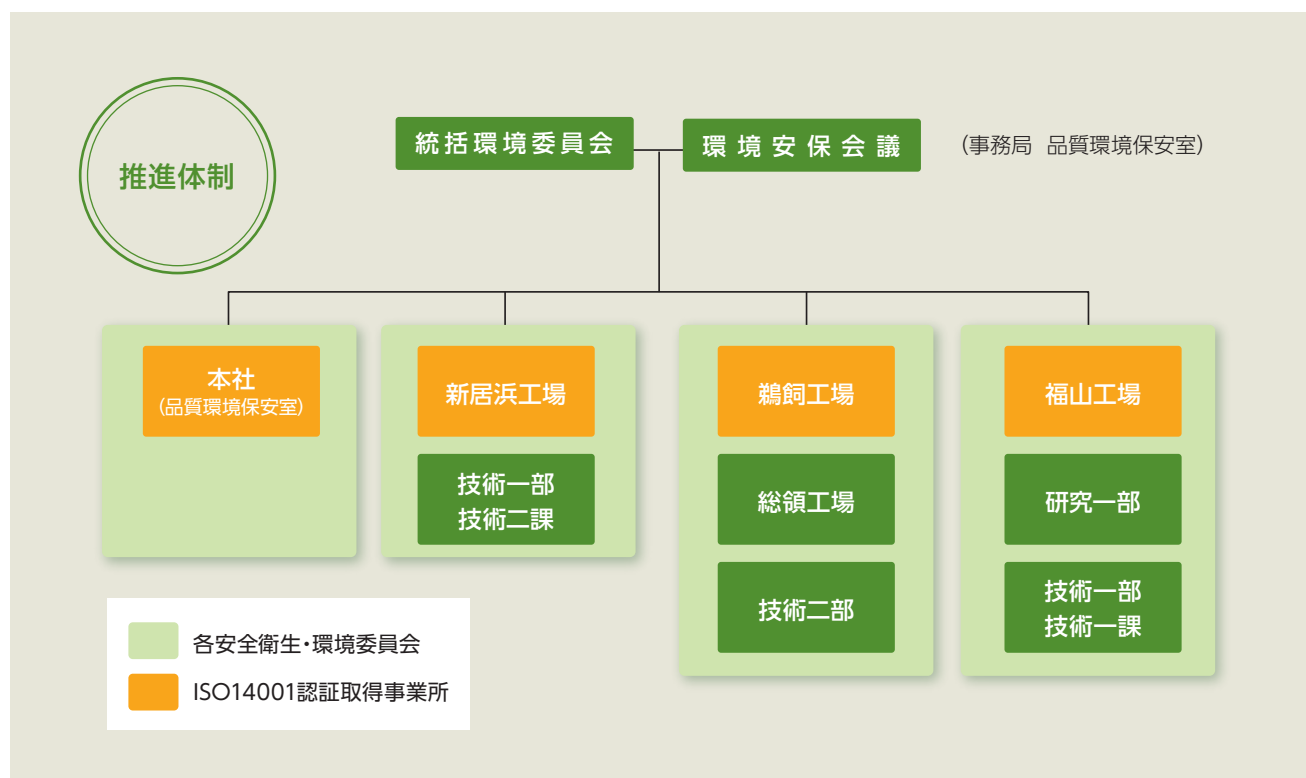
### 《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



## 目標達成状況

### 》》 2018年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2018年度目標	2018年度実績	評価	2019年度目標
環境マネジメントシステム(EMS)の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	EMS認証取得3工場の認証更新	○	EMS認証取得3工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比1%増加	×	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比1%削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比3%増加	×	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位前年度比9%増加	×	産業廃棄物排出原単位削減
	廃棄物排出量削減	廃棄物排出量前年度比3%削減	○	廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量前年度比8%削減	◎	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業1件	×	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

◎目標を大幅に超えて達成 ○目標を達成 ×目標を達成できなかった

### 《 環境方針 》

わたしたちは、法令順守・環境負荷低減を最重要事項に定め、その達成に向け、事業活動で生じる全ての環境影響因子を可能な限り削減・排除すべく継続的改善を図り、社会的責任を果たします。

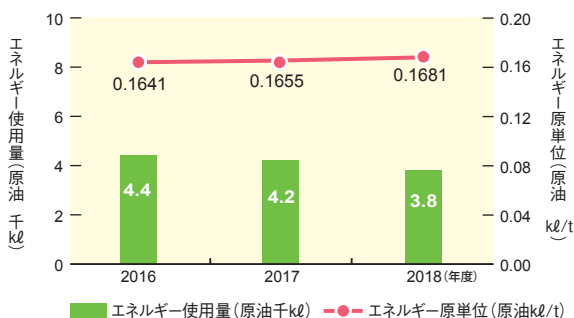
2018年9月1日

ヤスハラケミカル株式会社 取締役生産本部本部長 栗本 倫行

# 事業活動における環境配慮への取り組み

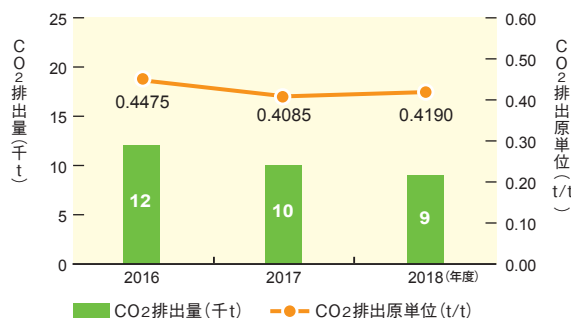
## エネルギー使用量

2018年度は設備合理化や原料蒸留残渣のボイラー燃料活用等によりエネルギー使用量は減少しましたが、生産品目の変動等によりエネルギー原単位は前年度比1.6%増加しました。引き続き省エネルギーに努めます。



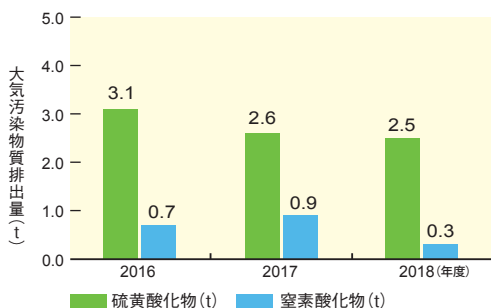
## CO<sub>2</sub>排出量

2018年度は原料蒸留残渣の活用等による燃料使用量削減を継続しましたが、生産品目の変動等によりCO<sub>2</sub>排出原単位は前年度比2.6%増加しました。引き続きCO<sub>2</sub>排出削減に努めます。



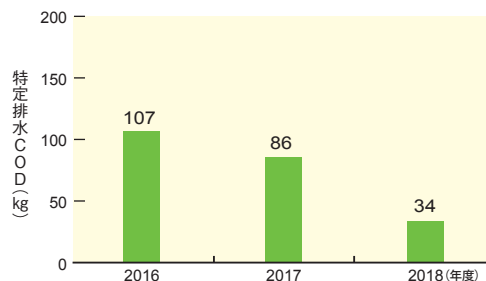
## 大気汚染物質の排出量

2018年度は2015年度に実施した低硫黄燃料への転換を継続し、硫黄・窒素酸化物排出量は減少傾向となっています。引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



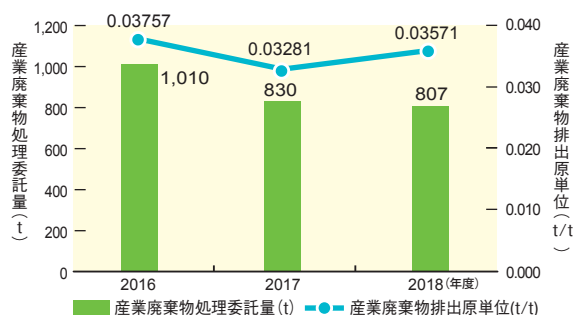
## 水質汚濁物質の排出量

2018年度は設備合理化をさらに進め、COD負荷量は前年度比60%減少しました。引き続き水質汚濁物質の排出削減に努めます。



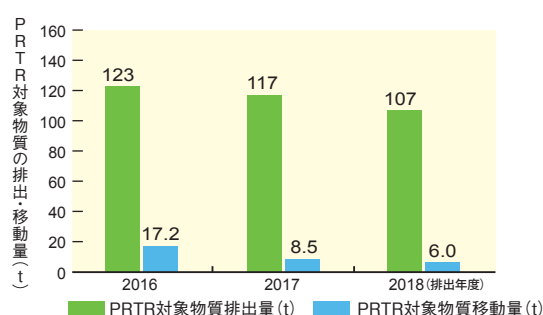
## 産業廃棄物処理委託量

2018年度は生産品目変動等の影響により、産業廃棄物排出原単位は前年度比3%増加しました。引き続き産業廃棄物削減、有価物への転換等に努めます。



## PRTR対象物質の排出・移動量

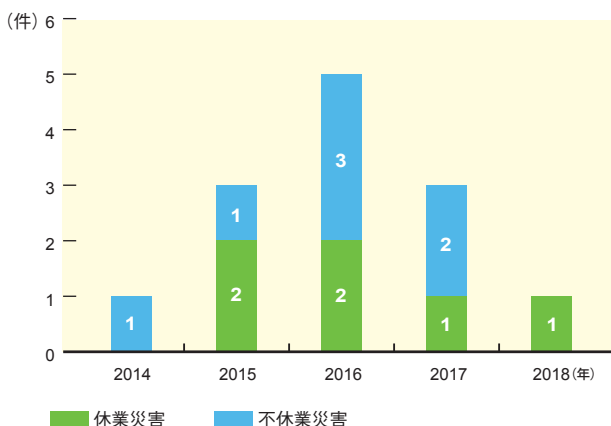
2018年度は生産品目変動等の影響により、PRTR対象物質排出量は前年度比8%減少しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。



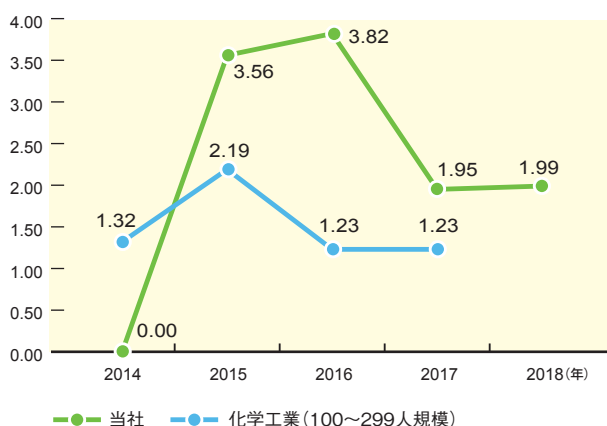
## 安全衛生への取り組み

ヤスハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

### ▶▶▶ 労働災害発生件数の推移



### ▶▶▶ 休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生頻度を表す。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

※出典：厚生労働省「平成29年労働災害動向調査(統計表)一般産業第2表」(平成30年10月19日公表)

### ▶▶▶ 安全衛生表彰

鶴飼工場において、永年にわたる安全衛生活動に努めたことが評価され、広島県労働基準協会府中支部 進歩賞を受賞いたしました。

受賞日	受賞対象	受賞内容
2018年4月20日	鶴飼工場	広島県労働基準協会府中支部 進歩賞

### ▶▶▶ 安全衛生・環境に関する資格の保有者数

当社では、安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	保有者数*(名)
	2018年度
公害防止管理者	19
エネルギー管理士	10
衛生管理者	27
特別管理産業廃棄物管理責任者	9
ボイラー技士・整備士・溶接士	51
危険物取扱者	187
消防設備士	27
高圧ガス製造保安責任者	68

※延べ人数



#### 広島県労働基準協会府中支部 進歩賞を受賞して

2018年4月、安全衛生活動が活発に行われていることが認められ、鶴飼工場として広島県労働基準協会府中支部より進歩賞を受賞しました。

我々の工場では、定期的なパトロールにより問題・課題を抽出し、期日を決めて対処することで、事故・災害の未然防止に取り組んでいます。

また、安全衛生委員会では、労使間で忌憚のない意見交換を行っており、双方が同じ目標に向かって進んでいることを実感しています。このような地道な活動が評価されたことは非常に名誉なことであり、今後も引き続き快適な職場環境の形成に努めてまいります。



鶴飼工場 工場長 藤田 耕三